

みとめ合い
はげまし合って
のびていく
＜県民会議の活動ご紹介＞



公益社団法人福岡県青少年育成県民会議

山で。川で。大ホールで。

県民会議は様々な体験活動事業に取り組んでいます。

子どもたちが、次代の社会を担う者として、新たな価値を創造する力、対立やジレンマを克服する力、責任ある行動をとる力を身に付けていくためには、リアルな体験活動が重要であると言われています。

このことから、（公社）福岡県青少年育成県民会議では、福岡県などと連携し、小学生から高校生までの幅広い世代を対象に、キャンプや野外ボランティア活動などの自然体験活動から、少年の主張や囲碁大会といった文化体験活動まで、様々な体験活動事業を展開しています。

また、体験活動に取り組んでいる団体を支援するほか、研修会の開催などによる地域の子育て支援、体験活動に従事するスタッフの養成など、子どもたちの健全育成に資する事業に幅広く取り組んでいます。

様々な活動を福岡県下の子どもたちにあまねく届けるためには、皆様の力が必要です。賛助会員へのご入会、未来子どもチャレンジ応援事業者への登録など、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。



I 県民会議の体験活動

子ども体験フェスティバルふくおか

子どもたちが様々な体験活動に触れ、また、子どもたちが持つ多彩な可能性を開花させるきっかけとするため、企業や団体のブース出展により、多様な体験活動を提供しています（主に小学生向け）。

多くの子どもたちが来場し、楽しみながらも真剣に体験活動にチャレンジしています。



＜お茶育体験＞



＜消臭ビーズづくり体験＞



＜光の三原色体験＞



＜イラスト・デザイン体験＞



＜動物ふれあい体験＞



＜空港のお仕事体験＞



＜動画クリエイター体験＞



＜おそうじスライムづくり＞

※写真は2024年開催時のものです。開催年により出展ブースは異なります。

異年齢交流で育て！青少年育成キャンプ



小学5年生から中学3年生までを対象に、4泊5日の野外学習を行っています。子どもたちが自然の中で様々なことを体験し、異年齢での共同生活を通して社会性を身に付け、自立する力や達成感を養います。

野外活動中の「ネット・ゲーム依存防止学習」・「防災非常食調理体験」プログラムは好評です。

12月には、保護者にもご参加いただき事後報告会を開催します。久しぶりに会った仲間と動画や感想文でキャンプを振り返り、「体験したことを活かす」“学習”を行います。



国際交流体験事業

異文化を理解し尊重する心、自分と異なるものを受け入れる包容力、他人への思いやりの心を養うため、令和7年度から、未就学児や小学生を対象に、オイスカの外国人研修生等との野菜収穫等を通じた国際交流事業を実施します。



折り紙ヒコーキ大会

A 4 版の紙を折り、飛行距離や飛行時間を競うことを通じて、子どもたちの自立心や創意工夫する力を育むため、小学生を対象に「折り紙ヒコーキ大会」の予選会、県大会を実施しています。



＜令和 6 年度実績＞

体験会・講習会講師派遣 44回

参加者数 体験会1,164名

講習会272名

県内各地での予選会開催 29会場

（県民会議開催 8会場、

地区独自開催 21会場）

参加者数 県民会議開催451名

地域独自開催436名

合計887名

県大会参加者 251名

未来をつくる高校生チャレンジ

地域活性化や社会問題解決などに取り組む高校生（個人又はグループ）に専門家のアドバイスや最大50万円の補助金交付により、自分自身の可能性に気づき、能力を磨き、様々な分野で才能を活かしてもらうことを目的に実施しています。

令和 6 年度は 7 組の高校生チャレンジャーが地域活性化・社会問題の解決・ワンヘルスの推進に挑戦。循環型社会を目指す活動や地元文化の魅力を再発見するイベントなど、高校生が多彩なチャレンジに取り組んでいます。

＜令和 6 年度 取組概要＞	
1	地域における防災・減災意識の向上を図るため、高校生が子どもへ授業を行い、子どもから家族へ知識が共有され、子ども自身が活動に加わるサイクルを目指す、独自の教育モデルを考案
2	若者の博多織に対する関心を高めるため、博多織の魅力を若者に訴求するための体験型イベントを開催
3	在留外国人が暮らしやすい福岡県にするため、日本語教室や日本文化に関するイベントを開催
4	高齢者のデジタル機器導入に対するハードルを下げるため、デジタルに詳しい大学生等が高齢者の元へ赴きサポートするマッチングビジネスを展開
5	突然死や孤独死の問題を解決するため、容易に健康管理ができるウェアラブルデバイスの開発や普及の啓発
6	コンポストを通じた循環型社会への貢献のため、子ども向け授業やイベント開催など環境問題への意識啓発活動を展開
7	馬と人が関わる機会を増やすため、イベントの開催や農業におけるボロ（馬糞）活用の実証を行う



少年の主張福岡県大会



中学生が自分の意見や夢を発表する大会です。

審査委員会の審査を経て、選考された16名程度の中学生が福岡県大会で発表します。

福岡県大会は、市町村民会議の協力により、県内各地を持ち回りで開催しています。



☆ 令和6年度 福岡県知事賞受賞者
久留米市立明星中学校3年 南波雅人さん
南波さんは、第46回少年の主張全国大会に出場されました。



青少年囲碁大会

囲碁を通じて青少年の考え方と礼節の心を育て、国際的視野を持った青少年の育成を目的に実施しています。



<福岡県青少年囲碁大会>



<福岡県江蘇省青少年囲碁交流大会>

II 体験活動実施企業・団体の支援

市町村等体験活動支援事業補助金

様々な体験や交流を通じて、青少年の「生き抜く力」を育成するため、市町村が市町村民会議や自治会等、多様な主体とともに連携して行う（又は市町村から推薦を受けた地域団体が行う）体験活動支援事業に対して、事業費の一部を助成します（補助上限額：市区町村 40万円、地域団体 5万円）。

また、市町村で実施する体験活動の推進体制構築のため、市町村の依頼によりNPO法人等の専門的な知識を有する者をコーディネーターとして派遣します。

派遣されたコーディネーターは、体験活動プログラムの企画や事業の進捗管理、多様な主体（自治会、企業等）とのマッチング・連携促進などにより、市町村の事業実施を支援します。

＜令和6年度 取組概要＞		
	市町村名	内 容
1	北九州市	市内4か所の地域の公園でのプレーパーク
2	福岡市	子どもたちが自主的に企画・実施する体験活動実施団体への補助
3	大牟田市	折り紙ヒコーキ大会、わくわく！子どもまつり
4	久留米市	アドベンチャーキャンプ
5	柳川市	発掘体験 折り紙ヒコーキ大会、ニュースポーツ等
6	八女市	サマーキャンプ、チャレンジウォーク
7	筑後市	サマーキャンプ、ウィンターキャンプ等、折り紙ヒコーキ大会
8	大川市	プレーパーク（9回）。プレーワーカー養成講座等（7回）
9	筑紫野市	青少年の育成に賛同する体験活動実施団体のへ補助
10	福津市	コミュニティ・フェスタ（プロ歌手との合唱、科学体験・工作体験等）
11	宇美町	段ボール遊び、牛乳パック作品作り、絵手紙作成、折り紙ヒコーキ体験等
12	新宮町	火起こしなどの自然体験学習、勾玉づくり等
13	水巻町	火起こしや野外調理などの自然体験学習
14	岡垣町	長野県を訪問し、文化・環境・生活習慣の異なる子どもたちとの交流
15	遠賀町	活動体験教室（農業）、ほたるピオトープづくり体験
16	桂川町	郷土カルタを通じた交流体験
17	筑前町	ドローン、VR、YouTuber、プログラミング体験
18	大木町	小学生宿泊自然体験（ジュニアリーダー育成）
19	添田町	自然体験活動（そえだSUMMERキャンプ）
20	上毛町	通学合宿（共同での生活体験）

「未来子どもチャレンジ応援事業者」登録制度

子どもたちに様々な体験・交流の機会を提供するため、福岡県内の企業等が行う体験活動の情報を収集、応援事業者として登録し、広く紹介します。

令和7年3月31日現在72事業者が登録されています。

登録事業者の一覧は下記アドレスまたは右記二次元コードで
ご確認いただけます。

<https://fukuokakenminkaigi.jp/challenges/>



体験活動を提供されている事業者様の登録申請をお待ちしております。

（体験活動の例）

- ・子どもたちを職業体験、工場見学、インターンシップ等で受け入れる。
- ・親子で触れ合うことができる体験活動やイベントを実施する。
- ・社員をキャリア教育等の講師として派遣する。

子ども体験コンサルタント

新たに子ども向け体験プログラムを開発・実施しようとする企業に「子ども体験コンサルタント」を派遣しています。派遣費用は無料です。

＜サポート内容＞

- ①子ども向け体験プログラムの企画に関する個別相談
- ②子ども向け体験プログラムの開発・制作サポート
- ③子ども向け体験プログラムの現場選定・実施調整サポート
- ④子ども向け体験プログラムの運営サポート

＜令和6年度派遣実績＞		
派遣先業種	テーマ	開発したプログラム
醤油醸造	醤油や米麴等の作り方を学ぶ体験	工場見学、麹菌について学習、利き醤油体験等
鶏卵生産	卵を使った調理や卵について学ぶ体験	ケーキづくり体験、たまご検定の挑戦等
イベント企画	コンサート会場の運営体験	運営体験（グッズ販売、場内や入口の案内等）
不動産・食品製造	伝統文化（茶育）体験	お茶育体験（お茶を頂く作法の体験等）
農業協同組合	花を利用した体験	お花のフォトブースづくり
生命保険	がん教育の普及と啓蒙につながる体験	レモネードスタンド活動体験（小児がん支援の学習、マイボトルづくり等）
飲食事業	竹を身近に感じてもらう体験	紙芝居を用いた放置竹林問題の学習、竹の器づくり体験
歯科医院	健康維持につながる体験	軸育・姿勢のトレーニング体験（ゲームを交えたトレーニング等）
保育事業	自然体験や経済活動（お店）に関わる体験	接客業（販売）体験、パフェづくり、盛り付け体験
ひとり親支援	アート体験	ミモザを使用したスワッグ作り体験
マネジメント業	アロマ体験、ノートワーク体験	所属クリエイターによるアロマ&ノートワーク体験
生地・織物等販売	花を飾れるファブリックボード作り体験	シナモンスティックを活用したインテリアスタンド作成体験

＜未来子どもチャレンジふくおか支援の会＞

様々な理由から、体験活動に親しむことができない子どもたちについて、移動手段の提供や参加費の支援などにより、県民会議や企業等が実施する体験活動に参加する機会を提供しています。

令和6年度は会員企業様が実施する工場見学や児童養護施設の体験活動実施を支援しました。

法人・団体様の年会費は1万円からとなっています。ご入会をお待ちしております。

※ ホームページもご覧ください。



＜会員企業＞（順不同）

（株）ふくや、（株）サニクリーン九州、学校法人麻生塾、（株）新出光、福岡地所（株）、（株）サニックス、（株）ゼンリン、（株）筑水キャニコム、シャボン玉石けん（株）、BIPROGY（株）、（株）福岡中央銀行、（株）SKプロダクト、（株）ピーエムティー、（株）麻生、明治安田生命保険相互会社、学校法人滋慶学園、損害保険ジャパン（株）



Ⅲ 子育て支援

乳幼児教育研修会

子どもの成長において乳幼児期は、とても大切な時期です。この乳幼児期の子育てについて考えていただくとともに、地域で実践されている親子教室を支援する目的で実施しています。

市町村で親子教室を企画指導する指導者、市町村職員、市町村民会議、保育士、幼稚園教諭、保健師、乳幼児期の子育て中の保護者、妊産婦、ボランティアなどに参加を呼びかけています。



子育て支援事業に取り組む市町村民会議等への助成

◇ 親子教室事業

胎児期から乳幼児期の子どもの保護者等を対象とした、子育ての在り方や進め方等に関する親子教室を実施する市町村民会議や市町村の支援のため、助成金を交付しています。

◇ よりよい親子関係講座事業

保護者や地域の人々等を対象として、家庭や地域における親の役割、親子関係のあり方等の講座等を開催する市町村民会議を支援するため、助成金を交付しています。

IV 人材育成

体験活動推進スタッフ養成事業

子どもたちが体験活動に取り組む機会を増やし、内容を充実させていくため、体験活動推進スタッフを養成しています。

体験活動推進スタッフには、（１）子ども体験サポーター （２）子ども体験プランナーの２種類があります。

（１）子ども体験サポーター：子どもの体験活動の現場運営をサポートするボランティアスタッフです。

（２）子ども体験プランナー：子どもの体験活動の企画・運営スキルを実践的に学んだ人材。体験活動の企画をサポートします。

令和６年度は、子ども体験サポーターを146名、子ども体験プランナーを13名養成しました。

体験活動を実施する企業・団体・市町村・市町村民会議等が養成講座を受講したボランティアを募集したい場合は、ご活用いただけます。



＜プランナー養成講座の講義風景＞

青少年体験学習活動 ボランティア養成事業

高校生、専門学校生、大学生等を対象とした青年ボランティア登録認定者が各種事業のボランティア活動を通じて、社会活動に対する自らのスキルアップを目指す事業。そのための研修を毎年開催しています。



市町村人財育成支援事業補助金

市町村が行う様々な分野で活躍する人財（未来の地域リーダー）を育成する事業に対して事業費の一部を助成します。

対象となる事業では、①参加者が自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して、解決に向けて行動し、意見を表明できる力を育むこと、②共感される力、自己肯定感・自己効力感、コミュニケーション力や目標を達成する力、考える力を養うことを取組目標にすることとしています。

事業の参加者は、①5人以上、②（原則として）中学生としています。

なお、中学生が参加していれば、高校生や小学生も参加可能です。

交付金の補助対象者及びプログラム例は以下のとおりです。

（補助対象者）

- ①単独市町村（政令指定都市、中核市を除く）
- ②政令指定都市、中核市
- ③複数市町村

※当該自治体が費用を負担する実行委員会を含む

（補助率）補助対象経費の1/2以内

（補助上限額）

- ① 900千円
- ②2,900千円
- ③3,200千円



【プログラム例】

・実施形式

3～5日程度の合宿形式

・内容

①講義

リーダーに必要な心構えを学ぶもの、地域社会への理解を深めるもの

②体験活動

地域の歴史や課題等について学ぶフィールドワーク、多様性理解のための障がいスポーツ体験

③グループワーク

3～5人程度に分かれて行う地域課題の解決をテーマとした討議

④発表

グループワークで討議した内容をまとめたプレゼンテーション（グループ発表）、プログラムを通して学んだことなどの発表（個人発表）

V 広報・啓発活動

家庭の日 オアシス運動

毎月第3日曜は「家庭の日」、社会生活の基本はあいさつ（オアシス運動）。「家庭の日」「オアシス運動」が地域に広く普及するよう、8月から9月にかけて、小・中・高校・特別支援学校生を対象に作文、ポスターを募集しています。

優秀作品は、表彰するとともに、県庁ロビー・アクロス福岡等で展示します。



アクロス福岡
2F メッセージホワイエ

作文・ポスター 最優秀作品



令和6年度 表彰式



作文の部 最優秀賞

「春が訪れたあの瞬間」

福岡県立嘉穂高等学校附属中学校3年
平岡 志帆さん

ポスターの部 最優秀賞

苅田町立苅田中学校1年 岡本 帆花さん

広報紙「若いなかま」発行

青少年健全育成活動に精通したライターが、健全育成の現場を詳細にリポート。体験活動の今をお伝えします。

賛助会員には毎号郵送でお届けするほか、県民会議ホームページでもご覧いただけます。

発行回数 … 年3回（7月15日、11月15日、3月15日）

発行部数 … 6,000部



日 次	
表紙	1
1 若くして活躍する若手職人	2
2 若くして活躍する若手職人	3
3 若くして活躍する若手職人	4
4 若くして活躍する若手職人	5
5 若くして活躍する若手職人	6
6 若くして活躍する若手職人	7
7 若くして活躍する若手職人	8
8 若くして活躍する若手職人	9
9 若くして活躍する若手職人	10
10 若くして活躍する若手職人	11
11 若くして活躍する若手職人	12
12 若くして活躍する若手職人	13
13 若くして活躍する若手職人	14
14 若くして活躍する若手職人	15
15 若くして活躍する若手職人	16
16 若くして活躍する若手職人	17
17 若くして活躍する若手職人	18
18 若くして活躍する若手職人	19
19 若くして活躍する若手職人	20
20 若くして活躍する若手職人	21
21 若くして活躍する若手職人	22
22 若くして活躍する若手職人	23
23 若くして活躍する若手職人	24
24 若くして活躍する若手職人	25
25 若くして活躍する若手職人	26
26 若くして活躍する若手職人	27
27 若くして活躍する若手職人	28
28 若くして活躍する若手職人	29
29 若くして活躍する若手職人	30
30 若くして活躍する若手職人	31

（公益社団法人）福岡県青少年育成県民会誌は、

青少年健全育成活動に精通したライターが、健全育成の現場を詳細にリポート。体験活動の今をお伝えします。賛助会員には毎号郵送でお届けするほか、県民会議ホームページでもご覧いただけます。

ホームページ

県民会議ホームページが令和6年3月に大幅リニューアル。デザインを一新したほか、様々な機能を追加するなど、皆様により親しみやすく、使いやすいものとなっています。URL等は下記のとおりです。ぜひご覧ください！

<https://fukuokakenminkaigi.jp/>



リニューアルにより追加した主な機能をご紹介します。

<かんたん体験活動検索>

県民会議が実施する体験活動事業のほか、市町村や市町村民会議、企業や団体が実施する体験活動事業も当ホームページで告知することができるようになりました。

こうした様々なイベント情報を、対象年代や活動のジャンルで簡単に絞り込み検索をすることができます。

<応援事業者閲覧>

県民会議に登録していただいた企業・団体が提供する体験活動を閲覧することができます。

— 登録事業者一覧 —				
表の応援事業者名をクリックすると、体験活動の詳細が表示されます。				
47件中 1~15 件目を表示しています				
応援事業者名	提供エリア			
	福岡	北九州	筑後	筑豊
一般社団法人日本スロージョギング協会	○		○	○
一般財団法人仁泉指導会 北九州支部	○	○	○	○
体験活動協会 FEA	○	○	○	○
明治安田生命保険相互会社	○	○	○	○

＜ボランティア募集＞

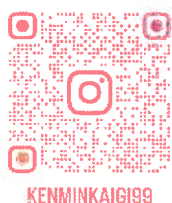
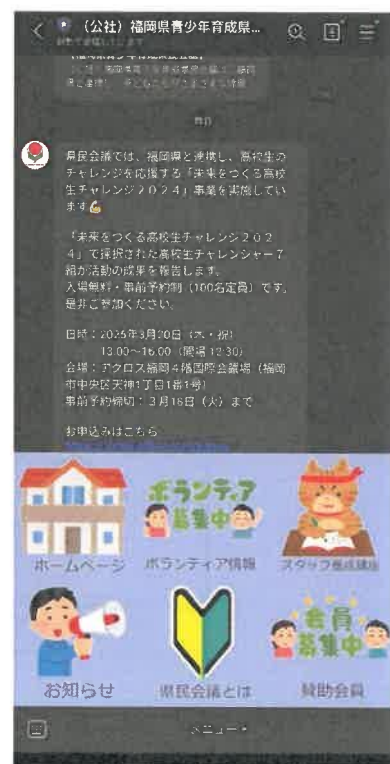
体験活動を提供する際、県民会議が育成したサポーター・プランナーをはじめ、県民等を対象に広くボランティアを募集することができます。



SNS

＜Instagram・LINE・YouTube＞

事業の募集や活動報告など、体験活動の旬な情報をお届けしています。チャンネル登録・フォロー・いいね！をお願いします！



＜Instagram＞



＜YouTube＞

青少年育成県民会議とは

青少年自らが、次代を担う誇りと責任を自覚し、未来を切り拓き、希望に満ちて生きるように

- ・ すべての大人が姿勢を正し、青少年に深い関心と理解をもち、積極的に青少年の育成に努めるように、
- ・ 県の青少年政策が一層の効果を上げるよう、相互の連携を図り、総合的、計画的な活動ができるように、

これらを目的とし、効果のある県民運動を展開するため昭和41年12月に設立しました。

平成25年4月1日から「公益社団法人福岡県青少年育成県民会議」として、市町村民会議等と連携して、青少年健全育成運動の推進に努めています。

令和5年度からは組織体制を拡充し、新たに「未来子どもチャレンジ応援プロジェクト」にも取り組んでいます。

賛助会員入会のお願い

これまで様々な事業をご紹介してまいりました。

こうした活動を福岡県下の子どもたちにあまねく届けていくには…次の世代の子どもたち、未来の子どもたちに届け続けるには…皆様のお力添えが必要です。当法人の活動にご賛同いただく賛助会員へのご入会をお待ちしています。

賛助会員の年会費

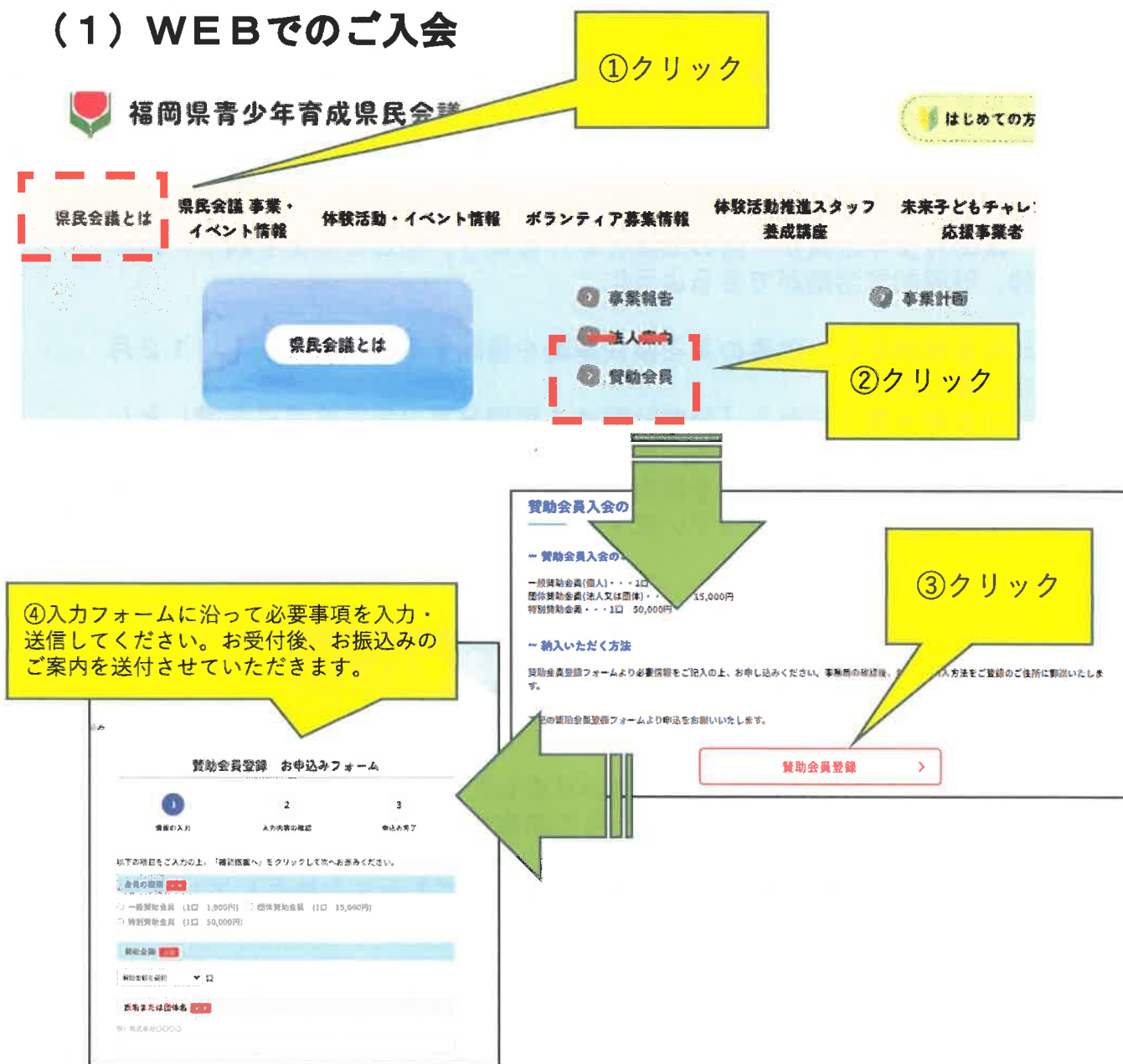
個人	1口1千円以上
法人又は団体	1口15千円以上
特別賛助会員	1口5万円以上

お振込口座

口座名義：(公社)福岡県青少年育成県民会議
西日本シティ銀行千代町支店 (普通預金)3053033
福岡銀行県庁内支店 (普通預金)526475
筑邦銀行福岡営業部 (普通預金)1597091
福岡中央銀行本店営業部 (普通預金)1030569
ゆうちょ銀行 郵便払込口座01700-5-4057

<ご入会方法>

(1) WEBでのご入会



(2) ご郵送・FAXでのご入会

裏面のお申込用紙に必要事項をご記入のうえ、下記までご郵送、またはFAXにてお送りください。

お受付後、会費のお振込みについてご案内させていただきます。



公益社団法人福岡県青少年育成県民会議

〒812-0046

福岡市博多区吉塚本町13-50福岡県吉塚合同庁舎 5 階

TEL092-643-6001 FAX. 092-643-6003

E-mail: net.y.d@isis.ocn.ne.jp

ホームページアドレス:

<http://www.fukuokakenmin.jp/>



公益社団法人福岡県青少年育成県民会議

賛 助 会 員 入 会 申 込 書

公益社団法人福岡県青少年育成県民会議の主旨に賛同し、

(法人または団体 ・ 個人 ・ 特 別) 賛助会員として入会を
申し込みます。

令 和 年 月 日

公益社団法人福岡県青少年育成県民議会議長 殿

法人(または団体)名

氏 名 (個 人)

㊞

ホームページや会報誌での氏名掲載にご協力いただける場合は可に
チェック、掲載を望まれない場合は否にチェックしてください。

☐ 可

☐ 否

口 数	口 (円)
ふりがな	
法人(団体)名 代表者名 氏名(個人)	
住 所 (所在地)	〒 ー
電話・FAX番号	()
紹 介 者	
摘 要	

※入会申込はFAX及び県民会議ホームページでも受け付けています
(公社)福岡県青少年育成県民会議 (FAX) 092-643-6003